

進路指導の実態レポート 2

# 東京都立調布北高校

## 組織的な進路指導体制に向けて 進路ノートや過去問集を独自に作成



東京都立調布北高校▲東京都調布市▲昭和48年設立▲全日制男女共学（普通科）▲生徒数715名▲進学指導推進校（2010年指定）▲大学合格実績：国公立／18名 私立／法政、中央、明治、立教、青山学院、早稲田、東京理科、上智、日本、駒沢、専修、東洋、芝浦工業、工学院 他



進路指導部主任 高見澤健吾  
たかみざわけんご ●教職歴20年。同校に赴任して6年目。進路指導部主任2年目。専門科目は保健体育。教育モットーは「何事にも全力で取り組む生徒を育てたい」。

### 3年間の進路指導の流れ

\*高校提供の資料を基に作成

- 3年**
- 4月 「学習到達度の把握、課題の確認」進路ガイダンス／スタディサポート／進路希望調査
  - 5月 面談
  - 6月 「授業以外の学習状況の把握」学習調査／面談
  - 7月 「4月からの到達度の把握、夏休みの学習課題の確認」進路ガイダンス／模試
  - 8月 「興味のある学習分野の方向性を考える」オープンキャンパスへの参加／勉強合宿
  - 9月 「大学の講義を経験し、知的好奇心を高める」国立大模擬授業／キャリア教育
  - 10月 「選択科目について理解する」進路ガイダンス／面談
  - 11月 「前回の模試との比較」模試／進路希望調査／面談
  - 12月 「苦手科目の克服」冬期講習
  - 1月 「現在の英語力4技能を把握する」英語検定試験
  - 2月 「1年間の学習成果を点検」模試
  - 3月 「大学入試の概略の把握、基礎学力の定着状況を確認」進路ガイダンス／スタディサポート／小論文模試

- 1年**
- 4月 進路希望調査／面談
  - 5月 面談
  - 6月 「授業以外の学習状況の把握」学習調査／面談

- 2年**
- 7月 「学部・学科、オープンキャンパスの見方」進路ガイダンス／模試
  - 8月 「大学調べ、受験科目の把握」オープンキャンパスへの参加／勉強合宿
  - 9月 「大学入試の概略、科目選択」進路ガイダンス
  - 10月 「科目選択」進路ガイダンス／進路希望調査
  - 11月 「課題の発見や弱点克服にむかわせる」模試
  - 12月 「苦手科目の克服」冬期講習
  - 1月 「学習の在り方について（3年0学期）」進路ガイダンス、英語検定試験（希望者）模試
  - 2月 「得意科目の伸長と課題克服」模試
  - 3月 「基礎学力の定着状況を確認」スタディサポート

- 3年**
- 4月 「3年次の学習の在り方、受験戦略、1年間の流れを指導、志望校宣言」進路ガイダンス／第1志望校宣言／面談
  - 5月 「基礎学力の完成度、弱点を把握」模試／面談
  - 6月 「学習状況の確認、受験本番を想定した進路意思の高揚」模試／国立大ガイダンス（希望者）
  - 7月 「センター試験の説明、夏期の学習および受験準備」進路ガイダンス
  - 8月 「指定校推薦説明会（希望者）」応用等を活用し、基礎力の完成とオープンキャンパスへの参加／夏期講習／模試
  - 9月 「センター試験出願、受験戦略について指導」AO推薦入試対策／面談
  - 10月 「受験中間期の現状と課題の把握」模試／AO推薦入試／面談
  - 11月 「受験候補大学の科目調査、難易度調査」模試／国立大ガイダンス
  - 12月 「受験候補大学説明会」模試／入試スケジュール
  - 1月 「受験直前指導」進路ガイダンス／センター自己採点
  - 2月 「国立大2次試験対策指導」私立大対策指導

でした。また、各教員がそれぞれ指導にあたっていたので、内容も学年によってバラつきがありました。現在は進路指導部が方針を取りまとめ、学年によって差が出ないように組織的に行っています。進路指導の大まかな流れは、1年生で、自己分析と大学で学びたい学習分野の決定を終わらせ、2年生の7月に開かれる進路ガイダンスで学部・学科に対する理解を深めたうえで、オープンキャンパスに参加して志望大の比較・検討、3年生の4月に第1志望校宣誓書を提出させるといいます。第1志望校宣誓書には志望理由と今後の学習目標、合格最低ライン（得点率）なども記入させていきます。以前は、2年生の1月に提出させていたのですが、そこから志望校を変えてしまう生徒も多

かったため、本年度から時期を遅くしています。生徒に刺激を与えるため近隣大学との連携を強化 本校は東京都の進学指導推進校に指定されているので、多くの生徒は国立大、難関私大合格という目標を持って入学してきます。しかし、学年が上がり、大学受験に関する知識が増えるにつれて「やっぱり大変そうだから、知名度がある大学ならいいや」と志望大を変更する生徒が増える傾向がありました。そこで「早い段階から高い目標を意識させ、最後までそれを維持させること」に指導のポイントを置いています。そのため、近隣の大学との連携を強化して、1年生から大学の雰囲気や学びの内容を意識させる機

会を多く設けています。例えば新入生に中学校と高校の勉強の違いなどを教える「教科別ガイダンス」は、電気通信大学のキャンパスで行っています。入学当初から大学の雰囲気に触れ、意欲を高めてもらうのが狙いです。学問分野研究に取り組み1年生の9月には、近隣の4つの国立大学（電気通信、東京農工、東京外国語、東京学芸）に協力していただき、生徒に模擬授業を体験させています。生徒の知的好奇心を刺

激し、「こんな環境で勉強したい」という望みを持ってもらいたいと考えています。学校独自で作成する進路ノート、過去問集 進路指導には学校独自の「進路ノート」を活用しています。学年別に分かれていて、1年生用のノートは学問分野研究に取り組ませる内容を掲載し、2年生用は進路ガイダンスや入試科目研究の記録を残せるようにしています。3年生用には、難関大に合格した6名の卒業生の成績推移や時期ごとの勉強時間、学習方法を紹介します。学習計画を立てる際の参考にさせていきます。

題の分析、解説をしています。模試デジの活用を促し 志望大を常に意識させる また、本年度から「進研模試デジタルサービス」（模試デジ）の活用も始めました。通常、模擬試験で志望大の判定が出るのは2年生の7月の模試からなので、生徒はそれまで志望大と現在の学力との距離を知る機会がなかなかありませんでした。しかし、模試デジだと1年生から志望大を登録し、判定を確認できます。模試を受験するたびに、模試デジを利用すれば、その時点での自分の実力と最終的なゴールとの差を意識することができ

### 進路指導に 高校オリジナルの テキストを活用



▲進路ノートと過去問集。「センター試験対策」の過去問集は6月に、「国公立・難関私大2次対策」は9月下旬に配布。過去問集は教員の指導力向上が狙い。(上)  
▶3年生版の進路ノートには先輩の合格ストーリーを掲載。先輩の体験談が、生徒のやる気アップに効果的(右)。

機関	大学	理工	学部	バイオ	学科	専攻科	一般入試
国公立	東京大学	工学部	工学	工学部	工学部	工学部	工学部
私立	慶応大学	理工学部	理工	理工学部	理工学部	理工学部	理工学部

  

科目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
英語	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
数学	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
物理	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
化学	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
生物	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
地学	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
歴史	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
政治	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
経済	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
倫理	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
芸術	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
体育	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
音楽	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
家庭	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
外国語	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月
その他	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月	11月